



機械科通信

酒田光陵高校機械科
第28号
平成28年7月22日

◆インターハイ・全国大会出場おめでとう！！

機械科の生徒は部活動でも大活躍です！！選手たちの意気込みをまとめました。

◎谷口海衣くん（機械科3年）

「今までやってきた練習の成果をすべて出し切り、勝ちにこだわるだけではなく、クルー全員で動きを合わせ、楽しみながらレースをしてきたいと思います。最初で最後のインターハイなので後悔の残らないように頑張ってきます。」

◎今井聖也くん（機械科2年）

「初めて二人以上の艇でレースすることになったので、慣れるまでが大変でしたが、先輩や先生方のおかげで県大会で優勝することができました。インターハイではミスを少なくし、自分の今までの努力を出し切って精一杯頑張ってきます。」

◎湯瀬琴乃さん（機械科2年）

「県大会で見つけた課題を改善するために毎日目標を持って練習してきました。三年生と一緒に戦う大会はこれが最後になるので、少しでも多くのレースができるように一つひとつのレースを大切に漕ぎきりたいです。そして、去年の結果よりも良い結果が残せるように頑張りたいです。」



ボート部



◎工藤勇希くん（機械科3年）

「私たちは、インターハイに出場できて全国ではなかなか勝ち進めない状況が続いているので、今までの悪い流れを断ち切れるように頑張ります。インターハイ出場という目標は果たしたので、次の目標の勝てるクルーになりたいと思います。」

◎佐々木天成くん（機械科3年）

「私はインターハイへ向け、県大会・東北大会から得た課題を解決するために日々の練習に打ち込んできました。チームの雰囲気もインターハイに向け引き締まってきました。先輩として最後に格好いい姿を見せられるように残り少ない練習を頑張ります。」

◎小川隼平くん（機械科2年）

「僕は初めて全国大会へ出場することになりましたので、自分のできることを精一杯やってこようと思っています。また、三年生と出場する最後の大会なので一緒に勝って喜びたいです。」

◎富樫裕太くん（機械科2年）

「練習通りの漕ぎをして全力を尽くしたいです。また、初めてのインターハイなので全国のレベルの高さを感じたいです。精一杯三年生の力になれるように頑張ってきます。」

裏面もあるよ

◎秋葉 拓くん（機械科2年）

「県大会では連覇することができました。練習の中で自分に足りないところを見つけ、それを補うために日々努力した結果だと思います。昨年のインターハイはベスト32だったので、今年はその上に行くためどんな相手にも通用する相撲を取りたいです。」



◎北川蒼志くん（機械科1年）

「県大会では先輩たちに負けずに優勝するため練習を頑張りましたが、結果2位でした。インターハイへ向け道場の先生たちの指導をしっかり受け、大会では良い結果を残したいです。」



◎岡田晟司くん（機械科2年）

「8月6日に若年者ものづくり競技大会があり、それに向け日々練習に励んできました。一度完成させたものから失敗した部分を見つけ出し、なぜ失敗したかを考え技術を高めてきました。大会で自分の実力がどこまで通用するかわかりませんが、悔いの残らないように最善を尽くしたいです。」



日本を制す！
光陵生

